ふれあい 特集

【地域ナンバーワンの福祉施設を目指す】

彩光苑を 知る

田崎昭一委員長

特集「彩光苑を知る」は、彩光苑の各種委員会の委員長を紹介しています。今回は感染対策委員会委員長の田崎昭一です。

【どんな活動をしていますか】

これからインフルエンザやノロウイルスが流行する季節になります。これらの感染症の流行期には毎年のようにニュース等で報道されておりますが、高齢者施設の場合、免疫力や体力が低下している方が多いです。そのため、ひとり感染者が出てしまうと施設全体に広がってしまう危険性があります。

この時期、当委員会では感染症予防対策の強化に向けて取り組んでいます。職員に対して感染症に対する基礎知識や意識を高めるため、実際にノロウイルスが発生した場合に備えた適切な汚物処理を目的とした研修を行っています。また冬季は加湿やマスクの徹底、職員が感染症を持ち込まないよう出勤時の体調チェック等にも注意しています。

【入居者様のために】

１１月１日から翌年の３月３１日までを感染予防強化月間として取り組みを行なっております。面会者の皆様には、受付での手指消毒やマスクの着用をお願いしております。また面会者の健康状態によっては、面会場所の変更や制限を行う場合もございます。万一苑内で感染者が出てしまった場合、蔓延を防ぐ為にフロア間の往来を制限したり、状況に応じては入居者様を隔離させて頂くこともございます。感染症には潜伏期間がございます。お住まいの地域、学校や職場などで感染症が流行していたり、ご家族のどなたかが感染している場合は、ご面会を控えて頂くことがございます。

【最後にひとこと】

昨年度は皆様のご理解ご協力のおかげもあり、入居者様の感染症発症をゼロに抑えることができました。今年度も苑内での感染症発症ゼロを目標に努めてまいります。

感染防止は目に見えない病原体との戦いです。職員が一丸となって感染防止に取り組んで参ります。入居者様を感染症から守る為に、関係各位のご理解とご協力をお願い致します。

内牧クリニック便り

風邪の季節がやって来ました

冬本番を迎えて、空気が乾燥し、気温が下がり、体調の管理が難しい季節がやってきました。健康維持のために、次の事に気をつけましょう。

（１）外出から帰ったら、うがいや手洗いをしっかり行いましょう。
（２）こまめな水分補給を行いましょう。
（３）室内の換気を行い、室温２０℃前後・湿度５０～６０％に保ちましょう。

「感染予防」「保湿」「咳エチケット」のために、マスク着用は有効です。

理　念

私たちは、地域の人々のために、共に手をつなぎ、一人ひとりを大切にし、安心して暮らせるように「福祉・医療・保健」を連携させたサービスを提供します

－ 基本方針 －

特別養護老人ホーム　彩光苑（介護老人福祉施設・短期入所生活介護）
・家族や地域の人々とともに、高齢者の尊厳を守りつつ寄り添うケアに努めます
・利用者のみなさまが、安全で安心して暮らせる環境を整えます
ケアハウス　彩光苑（軽費老人ホーム・特定施設入居者生活介護）
・利用者のみなさまの声を大切にし、いつまでも自立した生活が出来るよう支援します
・食事や入浴のサービスを通して、健康的な生活をささえます
・生涯にわたり、安心して生活を営むことができるサービスを提供します
内牧クリニック
・地域の人々の健康を願い、心のこもった医療を提供します
・誰もが気楽に集えるクリニックとして、健康相談を行います
・社会福祉法人のクリニックとして、生活困窮をかかえる方々の医療をささえます

彩光苑だより　第56号

ふれあい

発　行　社会福祉法人 恩賜財団 済生会
支部埼玉県済生会彩光苑
〒344-0051
春日部市内牧3149
発行者　所長　田嶌　襄
編　集　広報委員会
発行日　平成29年10月25日

彩光苑ホームページがリニューアルしました　http://www.saiseikai-kasukabe.jp

特別養護老人ホーム彩光苑 ・ ケアハウス彩光苑 ・ 内牧クリニック

ふれあい

９月１４日、爽やかな秋の晴天のもとで彩光苑敬老祭が開催されました。

今年もたくさんの入居者様やご家族の皆様方が出席していただく中で、厳粛かつ心温まる敬老祭となりました。式典後は祝い品の紅白饅頭を皆さんでいただきました。入居者様からは「おいしいよ」「ありがとう」などの感謝の言葉を頂き、たくさんの笑顔が見られました。

特に祝年齢者の皆様にとっては、幸福な一日となりました。

topics

敬老祭式典
市民福祉まつり・ふれあい広場の予告
特集　～感染対策委員会の紹介～
彩光苑の口腔ケアの取り組み
イベント紹介
夏祭りの実施報告
内牧クリニック便り

CS標語　『挨拶が　心をつなぐ　笑顔の輪』

彩光苑イベント紹介

ケアハウス日帰り旅行

９月４日（月）に群馬県の沼田市に日帰り旅行に行って来ました。今年は参加者が例年に比べて多く、観光バスを貸し切りました。

バスの中では、行きはカラオケで盛り上がり、帰りは職員の企画したビンゴゲームで、景品を入居者様へプレゼントして盛り上がりました。

現地では桃狩りをしたり、食事と温泉を楽しみました。帰り道には道の駅に寄り、買物を楽しみました。

今回の入居者様の参加人数は１３名と多く、和気藹々とした日帰り旅行を実施することが出来ました。入居者様には、来年もまた多くの皆様と日帰り旅行に行ければと思います。

苑創作品展を開催

毎年恒例になっている彩光苑創作品展を、９月１０日～９月３０日の間、２階ケアハウスにて開催致しました。入居者の皆様と職員との合作を数多く展示しました。たくさんの方に見学に来て頂き「良く出来ているね」などの作品に対する驚きの声が聞かれました。

ふれあい広場

11月4日(土)にウイングハット春日部において「市民福祉まつり・第32回ふれあい広場」が開催されます。毎年多くの来場者で賑わい、彩光苑も出展しています。

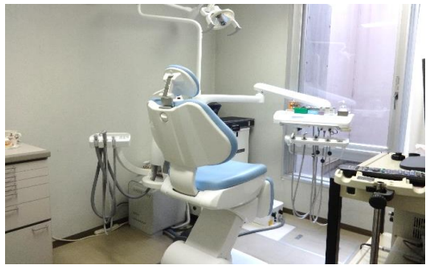
今年は、施設のピーアールを中心に、豚汁・イカ焼き・陶芸品やサボテンなどを販売いたします。お時間のある方は、是非ふれあい広場にお越し下さい。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

彩光苑の口腔ケアの取り組み（紹介）

その1

当苑には、歯科診療室があります。全国に数多くある特養の施設にこの設備がある施設は稀であります。平成１５年４月の開設時に、初代所長の人脈による歯科医師と嘱託医の契約を取り交わしました。嘱託医は、草加市内で開業されていまして、当時は埼葛歯科医師会の会長もされている先生でした。当初は、週１回の嘱託医による歯科治療及び口腔ケアの指導をお願いしておりました。

平成１８年には、嘱託医の出身大学である東京医科歯科大学高齢者講座の教授のご協力もあって、当苑を大学の研究施設として、二人の医局員を派遣して頂くことになりました。



彩光苑　歯科診療室

その後の診療体制は、嘱託医が１日、大学医局員が１日の週２日になりました。診療内容は、齲蝕、歯周病、義歯等の一般治療をしていただきました。一方、日本の死因の中で肺炎が第３位に上がったこと、中でも高齢者の死因のトップは肺炎というデータが公表され、その肺炎の８０％以上は誤嚥性肺炎であるということも判明しました。この背景に注目し、当苑では、嘱託医の先生の助言もあって誤嚥性肺炎の予防に取り組むことにしました。

誤嚥性肺炎予防の開始にあたり、歯科衛生士２名（非常勤）を採用しました。当初は、医局員の先生による関係職員（介護・看護・管理栄養士・歯科衛生士）に対し、誤嚥性肺炎予防の勉強会を繰り返し行いました。その後、職員は誤嚥性肺炎に対する知識、予防の重要性に対する認識が向上し、口腔ケアの取り組みに励みを増していきました。平成２３年に嚥下内視鏡を導入し、入居者一人ひとりの嚥下状態を検査し、その人に合った食形態を提供することによって、誤嚥を防ぎ誤嚥性肺炎予防につなげています。結果として誤嚥性肺炎で入院や治療する入居者は殆どなくなりました。

口腔ケアといっても、口腔内のクリーニングというイメージがありますが、口腔内には、腸内細菌と一緒で、善玉菌と悪玉菌がいます。悪玉菌は嫌気性菌です。口腔内で嫌気性菌が生きられるのは、歯と歯肉の間の深い所、歯石や歯垢の中などです。従ってその部分ををきれいにしないと効果が出ません。また、口腔機能には、咀嚼、嚥下、味覚、唾液の分泌、発音や呼吸など多機能にわたります。口腔機能を低下させないよう、日々のケアやリハビリが必要です。入居者の健康保持のためには、食事時の姿勢、１日の食事量、栄養バランスの配慮が重要になります。また、認知症予防の観点からも口腔機能を活性化することが大切な要素であると思われます。

次回は、口腔ケア推進職員としての経験談を掲載します。

彩光苑夏祭り盛大に開催

８月２７日（日）に毎年恒例の「彩光苑夏祭り」が開催されました。当日は天気にも恵まれたこともあり、たくさんの方が来場され、完売御礼の模擬店が続出しました。

ステージではボランティア様による様々な演目が披露され、祭りに華を添えていただきました。

日もすっかり暮れた祭り終盤での盆踊りでは、提灯の明かりと相まって、会場はノスタルジックな雰囲気に包まれました。祭りの締めくくりは毎年好評の花火です。入居者様からも「良かった」「楽しかった」との声をたくさん頂きました。

今年も夏祭りへのご参加、誠にありがとうございました。